

R5開始

いちのせきし

一関市(岩手県)

主な品目

- 水稲
- 麦 (大麦、小麦)
- 野菜 (葉菜)



実施体制

一関地方有機農業推進協議会(一関市、平泉町、大東町有機農産物等生産組合、有機農業者、産直組合、JAいわて平泉、一関市農業委員会、一関市教育委員会、県振興局・普及センター等)

面積情報

有機農業取組面積:123.0ha
耕地面積に占める割合:0.7%
(令和5年度時点)

1 背景・課題

一関市は、平成20年に一関市全域を対象に一関地方有機農業推進協議会を設立し、有機農産物の生産に取り組んでいるものの、水稲の雑草対策や地域内で発生する有機質資源の利活用に苦慮しており、取組者の増加、面積の拡大、反収の向上には結び付いていないのが現状である。

2 成果目標

有機農業の取組面積の拡大
R4年度 12.42ha → R10年度 17ha
有機農産物の販売数量の拡大
R4年度 26.7 t → R10年度 37 t
学校給食への有機農産物活用回数の増加
R4年度 2回 → R10年度 5回

3 主な取組内容

生産

- 有機農業志向者を対象に、有機農業の生産技術講習会を開催し、生産技術や国、県等の支援措置等に関する情報を提供
- 有機JAS認証の取得・更新費用に対する補助金の創設



農作業体験ができる
「田んぼの学校」

加工・流通・消費

- 学校給食への有機農産物の供給
- 市民の有機農業への理解促進を図るため、市民向けに有機農業勉強会の開催
- 子供とその保護者への有機農業への理解促進を図るため、農作業体験ができる「田んぼの学校」の開催
- 新たに出来た道の駅に有機農産物特設コーナーを設置



市民向け有機農業勉強会



道の駅だいたうに設置した
有機農産物コーナー

4 これまでの成果

R6年度に市内全小中学校の学校給食へ地元で生産された有機米を3回供給した。

【有機給食の実施回数】

R4年度 2回 → R6年度 3回

5 今後の展望

水稲以外の農産物に取組む農業者を巻き込み、一体的な取組として推進していく。

今後は、有機農業者の拡大及び生産技術向上のための講習会や実演会を開催する。また、道の駅等を活用した消費者理解の醸成に取り組む。

問い合わせ先

一関市農林部北部農業技術開発センター TEL:0191-75-2922